

(3)わたしには生涯を自然を救うことに捧げている  
祖父がいます。

2 (1) (2) イ (3) ウ (4) イ  
3 (1) ア (2) イ (3) ウ (4) イ  
4 (1) who[that] can (2) which[that] is  
(3) which[that] we took (4) running with  
(5) held in  
5 (1) the cake that we made for our father  
(2) a book which is written in easy English  
(3) a boy who has a bag with his name on  
6 Although it was rainy, he went for a walk.

#### 解説

1 それぞれ関係代名詞以下の節は前の名詞を修飾している。  
2 目的格の関係代名詞は省略することができる。  
3 関係代名詞に続く動詞の形は先行詞に合わせる。  
4 (1)・(2) 主格の関係代名詞を用いた文にする。  
(3) 目的格の関係代名詞を用いた文にする。  
(4)・(5) 名詞を修飾する分詞を用いた文にする。  
5 (1) 目的格の関係代名詞を用いた文。〈名詞+that+主語+動詞...〉という語順になる。  
(2)・(3) 主格の関係代名詞を用いた文。〈名詞+which[who]+動詞...〉という語順になる  
6 although=「～だけれど」

#### P.92 ● 長文の問題・英作文

1 (1) Being (2) 義足で走ること。  
(3) (2) Although (4) to  
(4) 彼は地雷によってけがをした子どもたちを助ける基金を始めたかった。  
(5) 1. He took part in the London Marathon.  
2. He ran across the Sahara Desert (in six days).  
2 (1) This experience changed his life.  
(2) She was the first writer to write about this problem.  
(3) It was an experience that I can never forget.  
(4) The temple which I want to visit is in this town.  
(5) Let's create hearts that love.  
(6) This is a movie which makes us happy.  
(7) I have a friend who lives in New Zealand.

#### 解説

1 (3) (2) although=「～だけれど」  
(4) 名詞を修飾する不定詞にする。  
(4) injured ...以下は前の children を修飾している。  
(5) 1. 本文第2段落から答える。  
2. 本文第3段落から答える。  
2 (1) this experience を主語にした文する。  
(3)・(4) 目的格の関係代名詞を用いた文にする。  
(5)～(7) 主格の関係代名詞を用いた文にする。

## Lesson 6 (4)

P.93 単語のワーク ① 教科 ② 楽しみ  
③ 音楽家, ミュージシャン ④ [テレビの]番組  
⑤ 買いもの ⑥ もう, すでに ⑦ sport  
⑧ movie ⑨ comic ⑩ favorite  
⑪ usually ⑫ kind

語句・読み方のワーク ① ア ② ア  
③ イ ④ イ ⑤ ○ ⑥ ○  
⑦ 遊園地 ⑧ ~に行ったことがある  
⑨ 夕食後(に) ⑩ ~を聞く  
⑪ bought, bought

#### 基本のワーク

1 (1) あなたはどんな種類の番組が好きですか。  
(2) わたしはもう宿題を終えました[終えてしましました]。  
(3) あなたはもうその本を読みましたか[読みてしましました]。  
2 (1) after dinner (2) How about  
(3) favorite musician (4) are, going  
3 (1) Have you ever been to  
(2) What's your favorite subject  
(3) already listened to his new CD  
(4) Have you bought it yet

#### 解説

1 (3) yet=「[否定文で]まだ」, 「[疑問文で]もう, すでに」

## Lesson 6 (5)

P.94 単語のワーク ① ~を勧める ② ふだんの  
③ 雑誌 ④ free ⑤ walk  
⑥ afternoon ⑦ evening ⑧ textbook  
⑨ crane

語句・読み方のワーク ① ア ② イ  
③ ウ ④ ウ ⑤ × ⑥ ×  
⑦ ~しに行く ⑧ ふだんより遅く  
⑨ ~に興味がある ⑩ 3年前に  
⑪ swimming ⑫ studied ⑬ got  
⑭ became

#### 基本のワーク

1 (1) わたしが勧める雑誌  
(2) わたしが行ったことのある場所  
(3) わたしが冬休みの間にしたこと  
2 (1) わたしはふだんより早く朝食を食べました。  
(2) わたしはその本を読んだとき, ツルに興味を持ちました。  
(3) わたしは泳ぐことが好きなので, 夏がいちばん好きです。  
(4) わたしたちは(わたしたちが)好きなことがたくさんできます。  
3 (1) are, interested in (2) went camping

(3) practiced playing

4 (1) didn't have anything to do  
(2) got up later than usual

## 実力確認テスト (4)

P.95 1 (1) ① イ ② エ ③ イ (2) ウ・キ  
2 (1) half price (2) something new  
(3) Although, lost, to (4) already listened to  
(5) later than usual

3 (1) have you finished your homework yet  
(2) was the first person to visit the place  
4 (1) where our house was  
(2) what Lisa has in her hand  
5 (1) Do you know[Can you tell] what this is?  
(2) I want to know why she went to Sapporo.

#### 解説

1 (1) ① イは[e], 他は[a] ② エは[i:], 他は[e]  
③ イは[a], 他は[ou]  
(2) クは第3音節を最も強く発音する。  
2 (2) 形容詞が somethingなどの語を修飾するときは, そのうしろにつける。  
(3) although=「～だけれど」  
(4) 「もう[すでに]～した, ～してしまった」という現在完了の文には already を用いる。  
(5) later than usual=「ふだんより遅く」  
3 (1) yet=「[否定文で]まだ」, 「[疑問文で]もう, すでに」  
(2) the first person を不定詞(to visit ...)が修飾する文になる。  
4 間接疑問文は疑問詞以下を〈疑問詞+主語+動詞...〉の語順にする。

#### P.96

6 (1) チマ・チョゴリを着ている女の人がアキと歩いています。

(2) あれは200年以上前に建てられた建物です。

(3) これはジュンがわたしに送ってくれた絵はがきです。

7 (1) loved (2) living (3) written  
(4) walking

8 (1) the students having lunch under the tree  
(2) The dinner cooked by my father

(3) a country I've wanted to visit

9 (1) これはわたしたちが京都で訪れた寺の1つです。  
(2) これらはわたしに重要なことを教えてくれる写真です。

10 (1) that[which] I bought (2) that[which] has  
(3) who[that] knows

11 (1) a magazine that I recommend  
(2) the train which goes to Yokohama  
(3) many people who lost their houses

#### 解説

6 (1) wearing chima jeogori が前の名詞を修飾している。  
(2) built ... 以下が前の名詞を修飾している。  
(3) Jun sent ... 以下の節が前の名詞を修飾している。  
7 前の名詞を「～している…」という意味で修飾するときは現在分詞(動詞の-ing形), 「～された…」という意味で修飾するときは過去分詞(動詞の過去分詞形)にする。  
9 (1)の which は目的格, (2)の which は主格の関係代名詞。それぞれ関係代名詞以下の節は前の名詞を修飾している。  
10 それぞれ関係代名詞を用いた文にする。  
(3) 先行詞が「人」のときは, 関係代名詞は who または that を用いる。

## Form ② - (1)

P.97 1 (1) 海で泳ぐのはとても楽しい。  
(2) 彼にとって日本語を話すのは難しい。  
2 (1) It, to (2) It, to sing  
3 (1) It is fun to play tennis.  
(2) It isn't easy for me to use this computer.  
4 (1) わたしの父はわたしに彼の仕事を引き継ぐように言いました。  
(2) わたしはリサにわたしとテニスをするよう頼みました。  
(3) あなたはわたしに何をしてほしいのですか。  
5 (1) tell him to (2) me to help  
(3) want, to come  
6 (1) My mother told me to read this book.  
(2) He asked her to take him to Nara.  
(3) I want you to be[become] a good student.

7 (1) わたしは何について話したらいいかわかりません。  
(2) わたしはあなたに将棋のしかたを教えましょう。  
8 (1) how to (2) what to read  
9 (1) showed me how to make a cake  
(2) tell us what to do next  
10 (1) I don't know what to buy for my mother.  
(2) Please teach me how to read this word.  
11 (1) why she is always late  
(2) when they will visit Kyoto  
(3) what you want to do  
(4) how Lisa goes to school  
(5) where she got the bag  
12 (1) I don't know[can't tell] who that girl is.  
(2) Do you know why he came here?